

★特別選抜準備対策号

2月に入り、3学期もあと1ヶ月少々となりました。3年生は今、国公立大学の前期・中期・後期試験や私立大学の一般試験に向けて頑張っています。今月号は、総合型選抜や学校推薦型選抜（特別選抜）の受験を考えている生徒によく読んでほしい内容です。**2年生は今日から動き出さないとすでにやや手遅れの状態です。**1年生も、今から動き出すと、自分の進路選択の幅を増やすことができます！

その1. 特別選抜について知ろう！

【総合型選抜・学校推薦型選抜（特別選抜）について】

大学入試は3年生の1月から始まると思っていますか？それは一般選抜の受験生の場合です。善一生はそれに先んじて特別選抜にチャレンジする人が多く、多くの大学では**総合型選抜は9月から出願**が始まり、**学校推薦型選抜は11月から出願**が始まります。また、**専門学校はまずオープンキャンパスに参加してエントリーし、7月から出願**が始まる学校もあります。（2年生はもう入試まで半年を切っている人もいる！）今年度はのべ177人がチャレンジしています。

特別選抜の試験内容としては、

- ・調査書
- ・基礎学力テスト
- ・面接（集団・個人）
- ・小論文
- ・グループディスカッション
- ・口頭試問

などがあります。大学としては「この学校で学びたい意欲」や「基礎的な学力」、「協働して学ぶ態度」などを評価します。

大学としては特別選抜で一定数の学生を確保したいという思惑もあり、学校推薦型選抜では**募集枠を全入学生定員に対して比較的多く設定している学校が多いので、第一希望に考えている学校が特別選抜を設定していれば、積極的に受験**しましょう。総合型選抜は専願（合格したら必ずその学校に行く）がほとんどですが、学校推薦型選抜は併願可（合格しても別の合格先に行っても良い）が多いので、**特に学校推薦型選抜は一般選抜の練習にもなります。**

ただし、そのためには準備が必要です。

その2. 準備しよう！

特別選抜では、以下の3つのポイントが重要です。

- 面接や小論文でのネタになる事柄を集めておく
- 日ごろから興味のある分野や志望校についての情報収集を行う
- 初対面の人にもハキハキと自分の意見を伝えられるようにしておく

●そのために今からすべきこと●

①入試対策ノートを作ろう！

特別選抜の受験を考えている人がまずすべきことは、入試対策ノートを作ることです。新品のノートを一冊準備しましょう。そこには、○志望校や志望分野に関する情報のメモ ○新聞のスクラップ ○読んだ本の情報や内容 ○面接の想定問答集 など、入試に向けて必要な情報をまとめましょう。一冊にまとめておくことで、入試対策の際、非常に便利です。

②新書やハイスクールタイムズ、新聞を読もう！

朝読書の時間、皆さんはどんな本を読んでいまか？一週間に40分程度本を読む機会がありますが、2年生はそろそろ入試に向けて**新書などのノンフィクショ**

ンを読み始めましょう。志望分野に関する知識を深められるだけでなく、面接で読んだことのある本について質問された際は、受験先と関わりのある分野の新書の書名や内容を答えると好印象です。書名や印象に残った内容を入試対策ノートにメモしておきましょう。また、自分の志望分野についての知識は入試が目前に迫ってから探すのでは遅すぎます。今のうちからアンテナを張って、情報を収集しましょう。隔月で**全員に配付している「ハイスクールタイムズ」**が、時事的な内容がまとめられていてお勧めです。受験科目に小論文がある人は、今のうちから書き方に関する本を読むなどしておく他の人に差をつけることができます。

③経験を積んで材料を増やそう！

在学中に**どれだけ自分から動いて面接や小論文の材料を作れるか**、これがカギです。オープンキャンパス参加は言うまでもなく、**実際に働く人の生の声を聞きに行ったり、自治体が行っているセミナーやイベントに参加**したりして見識を深めましょう。コロナ禍でなかなか外に出づらいつつありますが、その中で工夫していかにか経験を積むか。迷ったら勇気を出してやってみる方向に進みましょう。**英検などの資格取得**も、将来に役立つのはもちろん、入試の加点対象になる学校もあるので積極的にチャレンジしてみましょう。

④ハキハキ喋る練習をしよう！

ここまで特別選抜に向けて書いてきましたが、特に面接がある入試については、**初対面の人にもハキハキと自分の意見を自分の言葉で話す**ことができなければ、いくら材料が良いものが揃っていても評価されません。授業での発表の場面から、訓練を積みましょう。

小さな一歩が大きな成長へとつながる！！

香川県立善通寺第一高等学校進路指導部（担当：石川）